

平成21年産てんさいの作付面積及び収穫量(北海道)

— 収穫量は前年産に比べて14%減少 —

【調査結果の概要】

1 作付面積

作付面積は6万4,500haで、前年産に比べて1,500ha（2%）減少した。
これは、野菜、青刈りとうもろこし等への転換等があったことによる。

2 10a当たり収量

10a当たり収量は5,660kgで、前年産に比べて12%下回った。

これは、6月中旬及び7月中下旬における低温、日照不足及び多雨により生育が抑制され、道内各地で湿害が発生したためである。

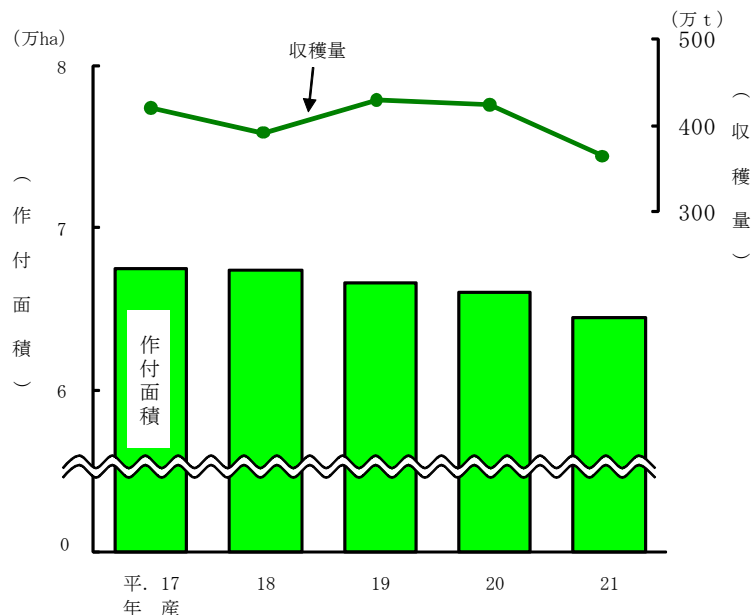
なお、10a当たり平均収量対比は90%であった。

3 収穫量

収穫量は364万9,000tで、前年産に比べて59万9,000t（14%）減少した。

これは、作付面積及び10a当たり収量が減少したためである。

図 てんさいの作付面積及び収穫量の推移



○ 「10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-stat)の「統計データ新着情報」でご覧になれます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

【関連するデータ、情報】

◎ 調査結果の利活用

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における食料自給率及び生産努力目標の策定、目標達成に向けた生産指導・達成状況検証のための資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料
- ・ 「畑作物共済事業」における共済基準収量算定及び農業共済組合連合会当初評価高の審査・認定の資料等

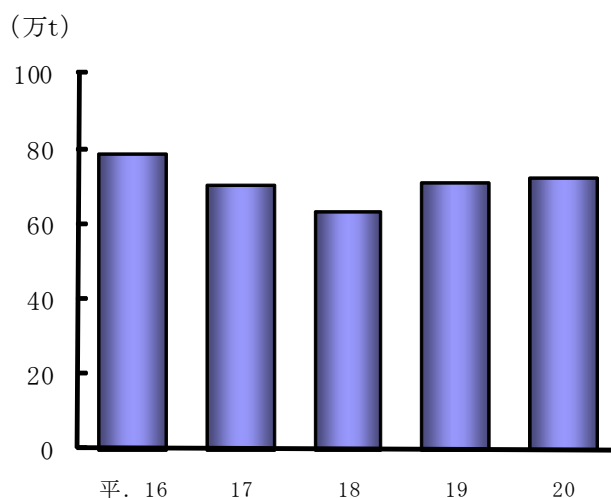
◎ 関連データ

1 累年統計表

区 分	作 付 面 積	10 a 当 た り 量	収 穫 量
	ha	kg	t
平成12年産	69 200	5 310	3 673 000
13	66 000	5 750	3 796 000
14	66 600	6 150	4 098 000
15	67 900	6 130	4 161 000
16	68 000	6 850	4 656 000
17	67 500	6 220	4 201 000
18	67 400	5 820	3 923 000
19	66 600	6 450	4 297 000
20	66 000	6 440	4 248 000
21（概数）	64 500	5 660	3 649 000

資料：農林水産省統計部『作物統計』

2 国内におけるてんさい糖の生産量の推移（砂糖年度）



資料：農林水産省生産局生産流通振興課調べ

注：1 砂糖年度とは当該年の10月1日から翌年の9月30日までの期間をいう。

2 生産量は製品ベースの数量である。

【統計表】

平成21年産てんさいの作付面積及び収穫量

区 分	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較					(参 考) 10 a 当 たり 平 均 収 穫 量 対 比
				作 付 面 積		10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量		
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%
北 海 道	64 500	5 660	3 649 000	△ 1 500	98	88	△ 599 000	86	90

注： 「(参考) 10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、てんさいの生産に関する実態を明らかにし、「食料・農業・農村基本計画」において策定された食料自給率や生産努力目標の達成に向けた各種行政施策の推進、水田・畑作経営所得安定対策の推進、農業災害補償法に基づく共済事業の適正な運営のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

北海道

(2) 調査対象の選定

製糖会社

(3) 調査対象数

	事業場数	回収数	回収率
てんさい	事業場 3	事業場 3	% 100

3 調査事項

作付面積、集荷量

4 調査期日

収穫期

5 調査方法

製糖会社に対する往復郵送調査による。

6 集計方法

調査結果により算出された、作付面積、集荷量、10 a 当たり収量を必要に応じて、巡回・情報収集により補完し、取りまとめている。

7 目標（実績）精度

本調査は、製糖会社に対するしつ皆調査のため、目標精度は設定していない。

8 その他

本資料の数値は概数であり、確定値は平成22年10月刊行予定の『作物統計』に掲載する。

9 統計表の見方

(1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入している。

原 数		7けた (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数(下から)		3けた	2けた		1けた	四捨五入 しない
例	四捨五入する前(原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した後(統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

(2) 表中に用いた記号は以下のとおりである。

「△」：負数又は減少したもの

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「工芸農作物(さとうきび・茶)」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>基本政策 <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

食料政策関係ページ：農林水産省>食料 <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>生産 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班 電話：03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部 統計企画課

広報普及班 電話：03-6744-2037



平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施しています。
調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>

